

警察用航空機を活用した被災状況に関する情報収集（千葉県茂原市）

効果概要：整備した警察用航空機（ヘリコプター）を活用し、被災状況に関する情報収集を実施することで、適切な部隊運用・指揮に貢献した。

府省庁名：警察庁

- 事業主体：警察庁、全国47都道府県警察
- 事例の場面：千葉県茂原市
- 対策の概要：警察の災害対処能力を向上させるため、老朽化した警察用航空機を更新整備し、航空機動力を確保する。
- 事業費：約10.9億円（令和元年～令和3年度）
- 効果：
千葉県警察において、警察庁が整備・配分した警察用航空機を活用し、台風第13号により発生した被災状況を把握するため、上空からの情報収集を実施したことで、適切な部隊運用・指揮に貢献した。

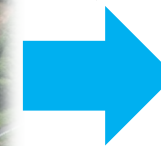
警察用航空機



上空からの情報収集の様子(千葉県茂原市)



伝送



警察本部、警察庁、首相官邸等